

3/6 風を切って遊園地を駆け抜ける ～クロスカントリーカーニバル～

▶遊園地の中を走り回る日本で唯一のユニークなコースです



クロスカントリーカーニバルをグリーンランド遊園地で開催しました。県内外の子どもから大人まで674人が参加し、力走を見せました。

県代表として都往路を走った経験を持つ有明高校陸上競技部も招待選手として参加し、大会を盛り上げました。

3年連続で優勝した前田琳香さん（荒尾JAC所属・桜山小5年）は「走るのはきつかったけれど、一番になれてうれしかったです。4連覇目指して頑張ります」とはにかんでいました。

3/12・19 強豪チームが丁寧に指導 ～タグラグビー教室～

▶12日には学校の先生を対象に指導者講習も行いました



小学生を対象に2回にわたり、タグラグビー教室を体育センターと陸上競技場グラウンドで開催しました。

2年連続8度の全国大会出場経験のある荒尾・岱志高校ラグビー部が中心となり、指導。子どもたちは部員から丁寧にアドバイスをもらいながら、ボール片手に全力で走り回り、爽やかな汗を流しました。

参加者は「みんなでパスをつなぎながら攻めるのが楽しかった」と笑顔で話していました。

3/15～27 滔天と孫文の友情の歴史を伝える ～孫文生誕150年 世界の孫文記念館展～

▶世界を股に掛けた孫文の革命活動をパネルで紹介しました



世界の孫文記念館展を宮崎兄弟資料館で開催しました。

今回の目玉は宮崎滔天著「三十三年之夢」（明治35（1902）年発行・初版2刷）と、資料館と交流のあるシンガポール孫中山南洋記念館晩晴園から贈られた「三十三年之夢」の中国語版（大正14（1925）年発行）のレプリカの初公開です。

来館者は「滔天の息子の妻・柳原白蓮しか知りませんでしたが、宮崎家と中国との関わりも知れて、勉強になりました」と声を弾ませていました。

3/21 春風に吹かれ 詩情を楽しむ ～海達公子ウォーク&ラリー～

▶13号詩碑「汽車」荒尾駅のプロローグ広場前駐車場近くにあり



荒尾市出身の小女詩人・海達公子の詩碑やゆかりの地を巡る文学散歩ウォーク&ラリーが（一社）海達公子顕彰会の主催で開催されました。50人ほどが参加し、ウォーキングしながら、公子の詩や荒尾の風景を満喫しました。参加者は「弟が公子の児童文芸&美術展の自由詩の部で入選したので、代わりに参加しました。運動しながら、公子のことを知れるので、いいですね」と話していました。公子の生誕100年に合わせて、8月には30基目の詩碑が建立されます。

地域の活動 掲示板

ペタンク大会



1/31

府本地区協議会
ペタンク大会

文化講演会
「わたりジョーズ君体験会」



2/14

中央地区協議会
地域交流グラウンドゴルフ大会

歩け歩け大会



2/14

有明地区協議会
大鍋会・防災講演会

ボウリング大会



2/14

桜山げんきかい
歩け歩け大会



2/21

平井地区協議会
グラウンドゴルフ大会



2/21

府本地区協議会
カライモ苗床づくり



2/21

みどりが丘元かい
グラウンドゴルフ大会



2/28

荒尾地区協議会
歩け歩け大会



2/28

中央地区協議会・よかまち中央会



3/3

府本地区協議会



3/13

有明地区協議会



3/13

中央地区協議会

新しい地域おこし協力隊を紹介します

地域おこし協力隊とは、都市地域の住民が地方に移住し、地域おこし活動を行うことで、地域の活性化に尽力する人のことです。3月1日、農業振興と観光振興の分野で2人が夫婦で福岡市から着任しました。

まえだみちのり
前田道範（古庄原・37歳）



東京都出身です。母の実家が農家だったので、子どもの頃はよく手伝っていました。以前はIT関係の仕事に就いていましたが、いつか農業に携わりたいと思っていました。オリーブの出荷・販売・商品開発などを通して、荒尾のオリーブの良さを広めていきます。趣味はレコード鑑賞と猫の飼育です。体を動かしてダイエットしながら、頑張ります。

まえだゆう
前田優（古庄原・39歳）

福岡市出身です。父は荒尾市、母は大牟田市出身です。前職ではウェブを使ってマーケティングをしていました。食べ歩きや歴史巡りなどを行い、荒尾の良さを伝えていきます。自然が好きで趣味はキャンプとハイキングです。荒尾市には海も山もあり豊かな自然が魅力的です。ご近所さんから野菜をもらったりと、人の温かさをひしひしと感じています。

